

医療統計情報プラットフォーム 設立趣意書

現在、日本のヘルスケア市場においては、長引く構造的不況による医療財源の枯渇や、高齢化による国民医療費の高騰などを背景として、DPCの導入、ジェネリックの使用促進、病床選択の実施など、医療の市場構造を抜本的に改革する動きが起きております。特に国立大学法人附属病院においては、2004年4月の国立大学法人化の影響も加わり、管理会計などの導入による病院経営の強化や、効率的な医療提供や医学的見地に基づいた適切な診療を実現するためのEBM研究の強化、更には良質な医師を輩出するための教育体系の見直しなどが求められるようになってきております。

そのような環境の中、複数の大学病院が協力し、医療機関が保有する情報を匿名化処理した上で収集・分析し、診療・研究・教育の支援や病院経営への活用等の新たな付加価値を提供する基盤としての大規模診療情報データベースの実現を産業界との協調の上で目指す事としております。また、将来的には大学病院に限らず、広く医療機関からの情報収集・分析を目指し、より付加価値の高い機能を提供することを目指しております。本研究会は、診療情報データベースの実現方法、および診療情報データベースを用いた疫学研究や創薬研究、病院経営・医療経済への活用方法を研究するとともに、堅確な運用方法の検討等を行うため設立しようとするものであり、最終的には国民へのより良い医療サービスの提供、広い意味での国民への利益還元に寄与することを目指しております。

趣旨に賛同下さる方々の積極的な参加を心から願っております。

平成17年9月

設立発起人

赤澤 宏平	新潟大学医歯学部総合病院 医療情報部教授
荒木 賢二	宮崎大学医学部附属病院 医療情報部教授
五十嵐 徹也	筑波大学附属病院 医療情報部教授
菊池 健	熊本大学医学部附属病院 医療情報経営企画部助教授
熊本 一朗	鹿児島大学病院 医療情報部教授
◎ 里村 洋一	千葉大学 名誉教授
庄野 秀明	佐賀大学医学部附属病院 医療情報部教授
高田 彰	熊本大学医学部附属病院 医療情報経営企画部助教授
高林 克日己	千葉大学医学部附属病院 企画情報部教授
本多 正幸	長崎大学医学部附属病院 医療情報部教授
吉原 博幸	京都大学病院 医療情報部教授

(50音順,◎代表)